スポーツ報知　2011年(平成23年) 6月9日(木曜日)　報知新聞　(第三種郵便物認可)

神奈川 コールドラッシュ

横浜北都ボーイズ 8点

4回2死から5連打!!一挙4点!!

第42回日本少年野球選手権大会予選

第42回日本少年野球選手権大会（報知新聞社主催、8月2～5日・舞洲球場ほか）の各支部予選が4日、開幕した。神奈川県支部では、横浜北都ボーイズがコールド勝ちで初戦を突破。関東ボーイズリーグ大会準優勝の横浜泉中央ボーイズ、横浜都筑ボーイズなども2回戦に進んだ。群馬県支部では、太田ボーイズが今季初勝利で2回戦へ。前橋中央ボーイズなども勝ち上がった。

神奈川県支部

（4、5日・サーティーフォー相模原球場ほか）

▽中学生の部1回戦

川崎ボーイズクラブ	0	0	1		0	0	0		1
横浜北都ボーイズ（6回コールド）	2	0	0		4	1	X		8

（川）畑、森屋―森屋、畑（横）一瀬、渡辺―保崎

■橋本（横）

■保崎、一瀬、石橋（以上横）

▽審判　永井（球）武田、笹本、亀山

初戦突破!!

横浜北都ボーイズは、投打のバランスがかみ合い、2回戦に進出した。初回のピンチをしのいだその裏、渡辺勇輝が中前安打、有賀幸太が四球の好機に、橋本龍が右越え三塁打を放ち、2点を先制した。1点をリードした4回、2死からの左中間二塁打で2死二、三塁。大釈徹が左前適時打を放ち、5連続長短打。この回、4点を加え、5回にも加点。最後は6回、無死満塁から川口航がスクイズ。「ようやく、チームに貢献できました」と振り返った、3安打のラッキーボーイ杉浦がホームを踏み、コールドでゲームセット。

投げては、先発の一瀬が、横から出る右腕をしっかり振り、相手打者の内外角を攻め、走者を出しながらも5回を1点に抑えた。「最後の大会なので、初回は緊張していた。6本の安打は納得がいかない」と反省も忘れなかった。6回には渡辺が登板。球威のある直球でストライクを先行させ、3者連続三振。圧巻の投球で締めた。

笹木郁男監督(39)は「今日、一番の収穫は渡辺です。平気で四球を連発することもあるので。反省点は2つのけん制死です。積極性と暴走は、紙一重ですから、その見極めを早速、練習させます」と指揮官は次の対策に余念がなかった。

さあ一気全国だ

6回にスクイズで生還した横浜北都・杉浦。打っては3安打の活躍【下】緩急をつけ、好投した一瀬

横浜北都ボーイズ

選手名	学年
一瀬　広樹	3
渡辺勇輝	3
保崎　航	3
橋本龍	3
内田亮	3
川口航	3
有賀幸太	3
大杉徹	3
若月朗	3
矢田也	3
鹿内大惇	2
氏原　隼	2
鈴木　健斗	2
伊藤大河	2
佐保智哉	2
石橋雅樹	2
平林　晴	2
青木　季	2
山田　輔	2
康	2
晃	2
祐	2